

# めぐみイエス・キリスト教会

2026年2月22日(日)第四主日礼拝

午前10時より

週報「通算第796号」



## 2026年標題聖句

### ヨハネの福音書14章1節～2節

《「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、私は場所を備えに行くのです。」(新改訳第Ⅱ版)》

礼拝 毎週日曜日 午前10時～11時

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌282「見ゆるところによらず」	p. 450
【交読文】	No.4 詩篇第18篇(抜粋)	p. 881
【賛美Ⅱ】	新聖歌434「語り告げばや」	p. 700
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【前回説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲「キリスト賛歌」	
【聖書朗読】	ルカの福音書12章31節～32節	
【礼拝説教】	「御国を求めなさい」	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌165「栄光イエスにあれ」	p. 235
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

### ※本日の聖書箇所 (ルカ伝12章31節～32節新約p.142下段)

12:31「むしろ、あなたがたは御国を求めなさい。そうすれば、これらのものはそれに加えて与えられます。

12:32 小さな群れよ、恐れることはありません。あなたがたの父は、喜んであなたがたに御国を与えて下さるのです。」

### ●ポイント1. 「世のものではない」こととは？

#### ※ヨハネの福音書17章14節～16節「最後の晩餐で」 (新約p.220)

17:14 「私は彼らにあなたのみ言葉を与えました。世は彼らを憎みました。私がこの世のものでないように、彼らもこの世のものではないか

らです。

17:15 私がお願いすることは、あなたが彼らをこの世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。

17:16 私がこの世のものでないように、彼らもこの世のものではありません。」

### ※エペソ人への手紙2章4節～6節「ともに天上に」 (新約p.385)

2:4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちが愛してくださったその大きな愛のゆえに、

2:5 背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。

2:6 神はまた、キリスト・イエスにあって、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。

### ●ポイント2. 「三つ目の国」とは？

#### ※ルカの福音書17章20節～21節「パリサイ人たちに」 (新約p.153)

17:20 パリサイ人たちが、神の国はいつ来るのかと尋ねたとき、イエスは彼らに答えられた。「神の国は、目に見える形で来るものではありません。

17:21 『見よ、ここだ』とか、『あそこだ』とか言えるようなものではありません。見なさい。神の国はあなたがたのただ中にあるのです。」

### ●ポイント3. 「これらのもの」とは？

#### ※ルカの福音書12章29節～30節「前回の箇所から」 (新約p.142)

12:29 「何を食べたらよいか、何を飲んだらよいかと、心配するのをやめ、気をもむのをやめなさい。

12:30 これらのものはすべて、この世の異邦人が切に求めているものです。これらのものがあなたがたに必要なことは、あなたがたの父が知っておられます。」

## ◎先週のメッセージ【何を食べようか、何を着ようか】

《主イエス様のこの教えは、これが初めてではありません。最初は、「山上の垂訓」において、弟子たちに教えられています。マタイには、『「だれも二人の主人に仕えることはできません。あなたがたは神と富とに仕えることはできません。」』と、書き記されています。

この言葉から、この世界には二人の主人が存在することが分かります。一人目の主人とは神様です。イエス様を救い主として迎えている人は、紛れもなく、主に仕える弟子であり、「神の子ども」です。

そして、もう一人の主人とは、パウロが言う「空中の権威を持つ支配者」のことで、悪魔を指しています。主イエス様を信じている人以外の人は、すべて悪魔に仕える者であって、この世の者であり、富すなわちお金にも仕えていることになるのです。

そしてそれは、永遠の命と永遠の滅びとに分かれ、死後、天国と地獄とに分かれるのです。それだからこそ、先に救われた私たちは、今も生きておられる主イエス・キリストを宣べ伝える義務があるのです。

今は、終わりの時代の最後に来ています。益々世界は、破滅に向かって行きます。これから地球温暖化も加速して行きます。日本の物価は上がりましたが、今はまだお金を出せば、食料品を買うことができますし、まだ手に入ります。しかし、黙示録には、近い将来に、大飢饉や、灼熱地獄や、海の生き物が全滅することが預言されています。

そのような時こそ、み言葉による約束が成就すると信じます。エリヤと親戚を三年養ったやもめのように、神様が心配して下さるのです。『「何を食べたらよいか、何を飲んだらよいかと心配するのをやめ、気をもむのをやめなさい。これらのものはすべて、この世の異邦人が切に求めているものです。これらのものがあなたがたに必要なことは、天の父が知っておられます。まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。』》

## ◎お知らせ

※第1主日礼拝は、2026年3月1日(日)午前10時から行ないます。